

ADVANTEST®

2019年度（2020年3月期） 第3四半期決算説明会

2020年1月29日
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



```
...mirror_mod.mirror_object = ...
operation == "MIRROR_X":
    mirror_mod.use_x = True
    mirror_mod.use_y = False
    mirror_mod.use_z = False
operation == "MIRROR_Y":
    mirror_mod.use_x = False
    mirror_mod.use_y = True
    mirror_mod.use_z = False
operation == "MIRROR_Z":
    mirror_mod.use_x = False
    mirror_mod.use_y = False
    mirror_mod.use_z = True

...selection at the end -add ...
..._ob.select= 1
..._ob.select=1
...context.scene.objects.active
...("Selected" + str(modifier...
...mirror_ob.select = 0
..._ob.context.selected_ob
```

2019年度第3四半期決算報告

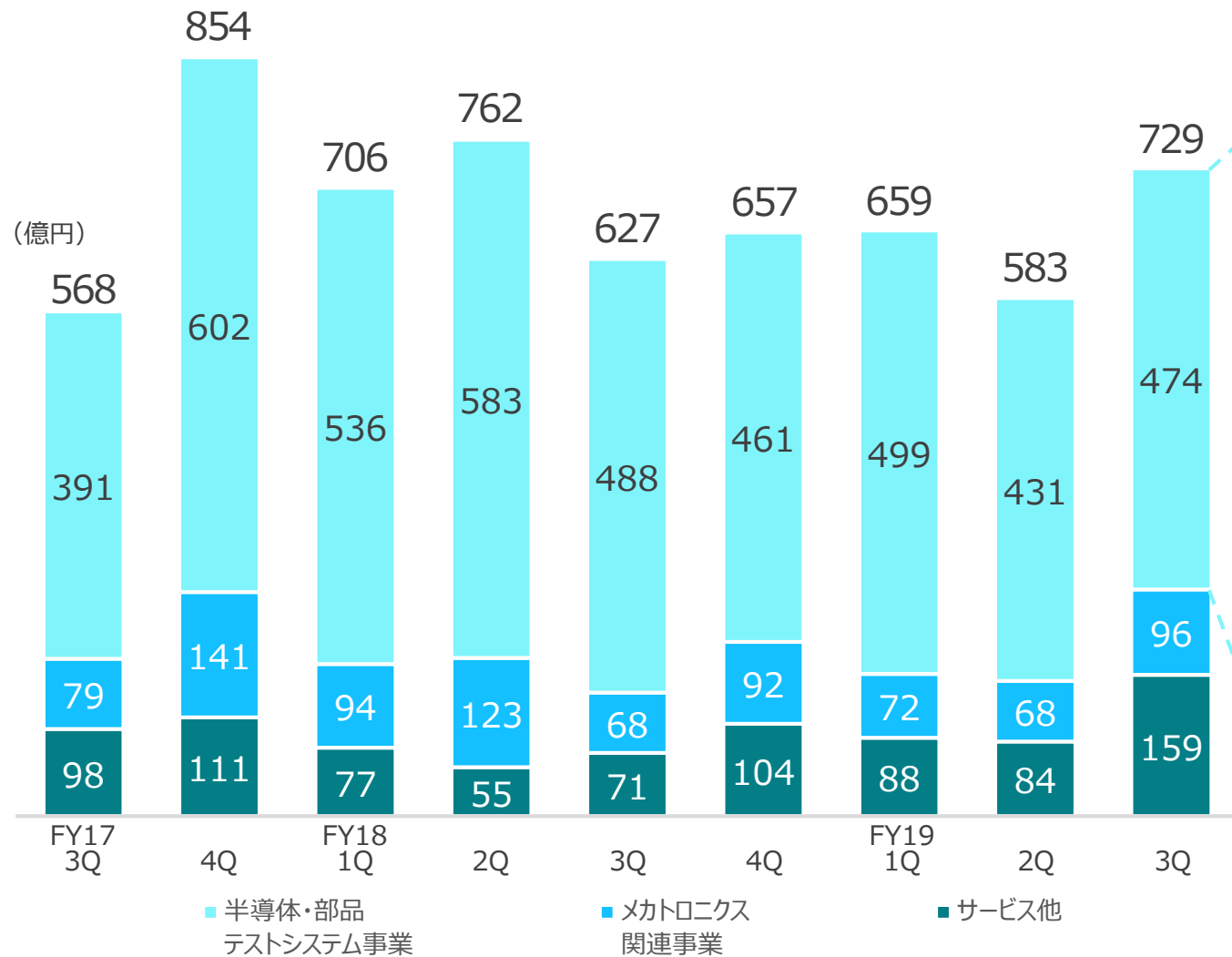
取締役 兼 常務執行役員 藤田 敦司

四半期業績推移

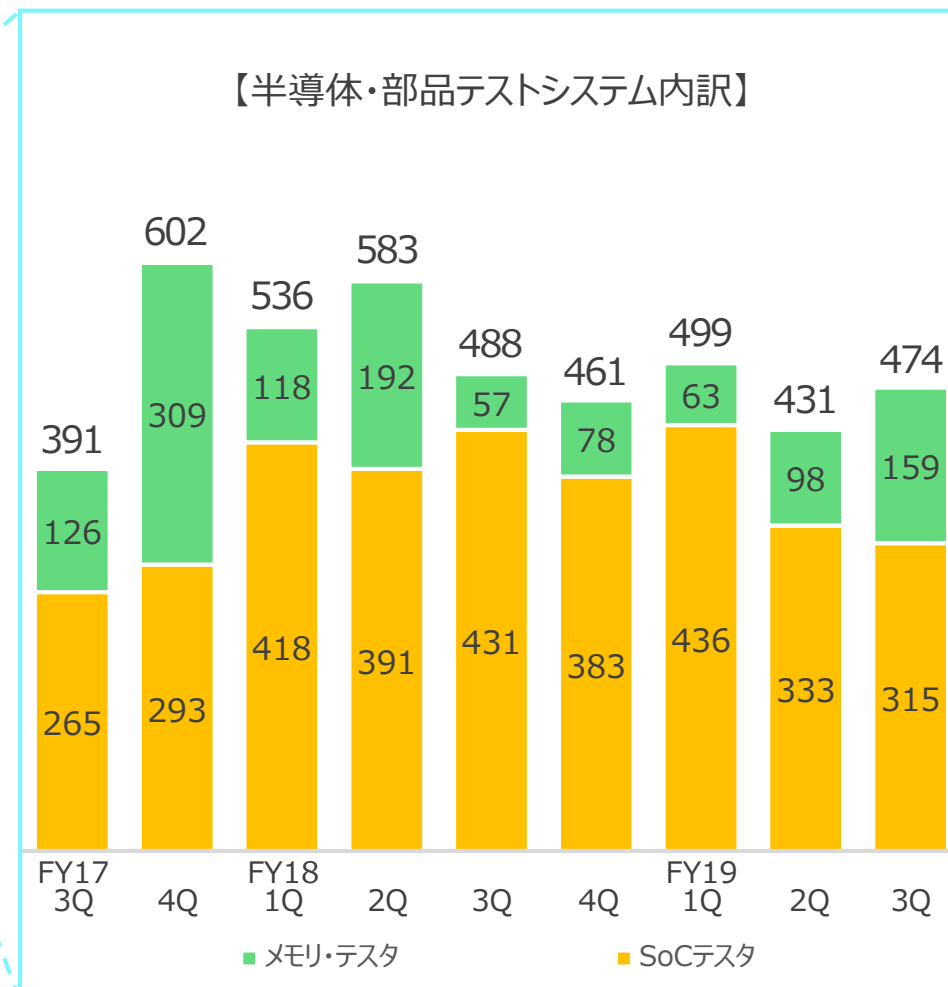
(億円)

	FY18				FY19							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	前期比		前年同期比		
								増減額	増減率	増減額	増減率	
受注高	706	762	627	657	659	583	729	+146	+25.1%	+102	+16.2%	
売上高	709	727	749	640	662	716	699	-17	-2.3%	-50	-6.7%	
売上総利益	382	389	425	344	394	410	394	-16	-3.9%	-31	-7.3%	
売上総利益率	53.9%	53.6%	56.8%	53.8%	59.5%	57.3%	56.4%	-0.9pts		-0.4pts		
営業利益	158	180	207	102	152	177	142	-35	-19.6%	-65	-31.2%	
営業利益率	22.3%	24.7%	27.6%	15.9%	22.9%	24.8%	20.4%	-4.4pts		-7.2pts		
税引前四半期利益	165	186	206	105	149	184	145	-39	-21.0%	-61	-29.8%	
四半期利益	139	162	179	90	121	147	119	-27	-18.7%	-60	-33.3%	
四半期利益率	19.6%	22.4%	23.9%	14.0%	18.3%	20.5%	17.1%	-3.4pts		-6.8pts		
IFRS第15号適用に伴う 期首受注残の調整	-30											
Astronics社SLT事業譲受に伴う 受注残の増加				+24								
受注残	795	830	708	749	746	613	643	+30	+4.9%	-65	-9.2%	
為替レート	1米ドル	108円	111円	113円	111円	108円	108円	-		5円 円高		
	1ユーロ	131円	129円	130円	126円	125円	119円	2円 円高		11円 円高		

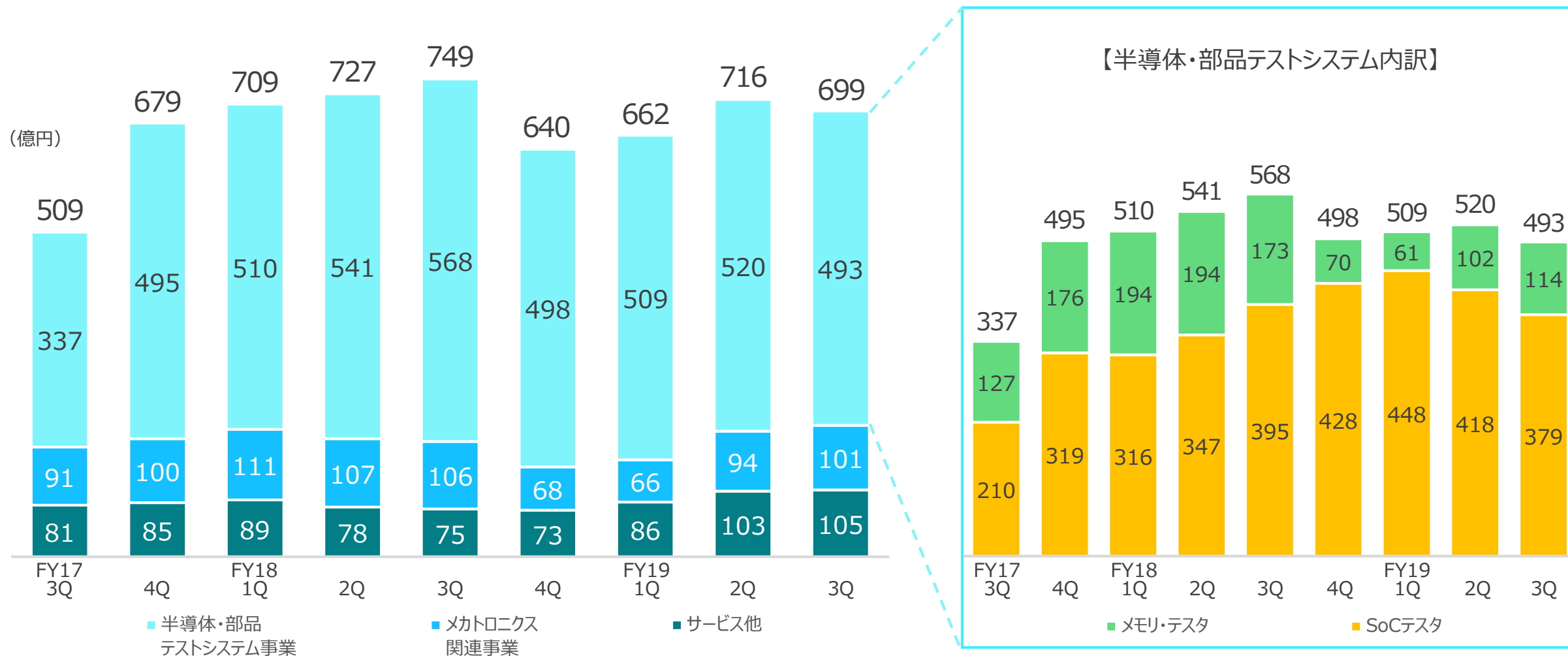
四半期受注高 事業セグメント別



*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

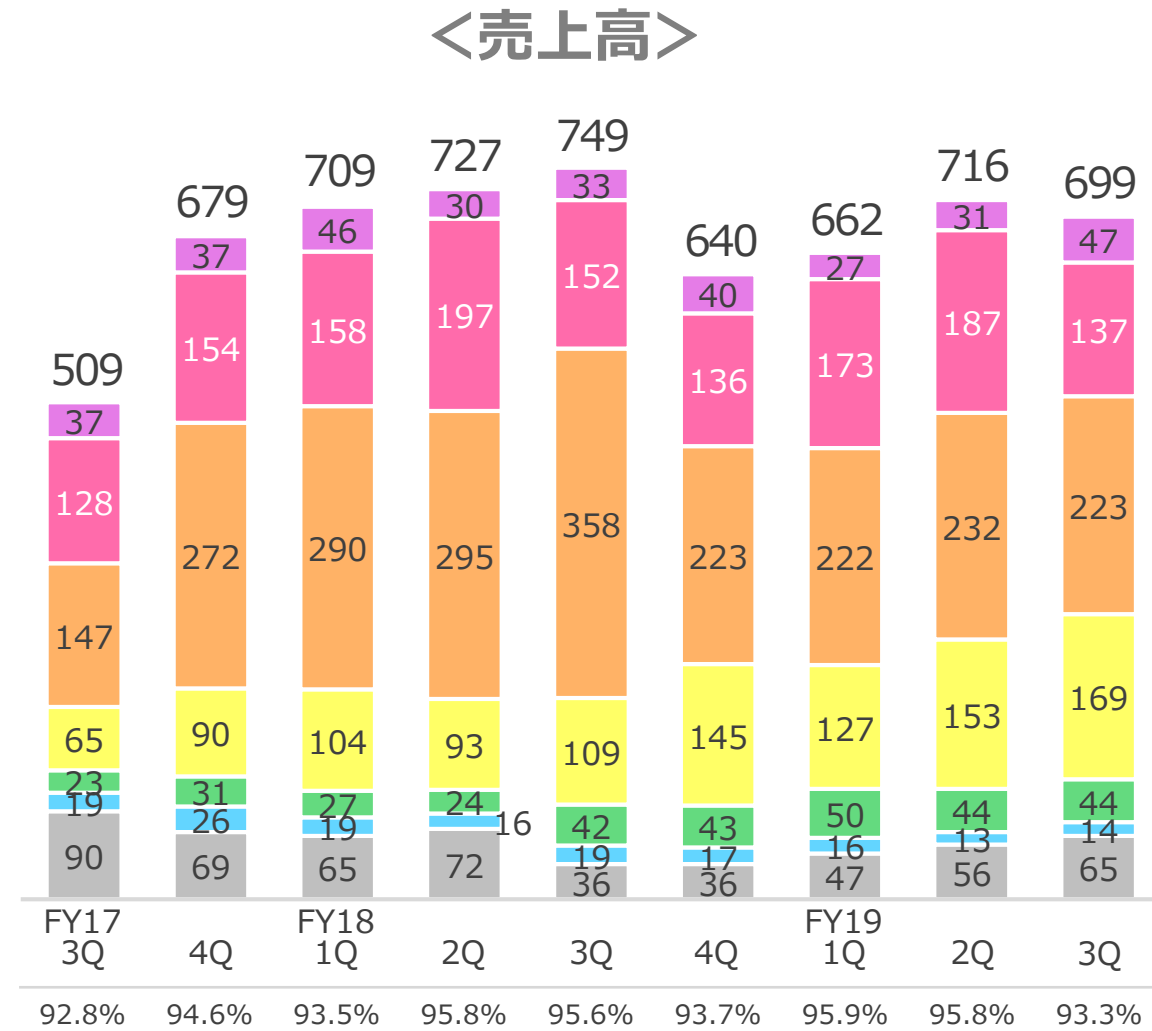
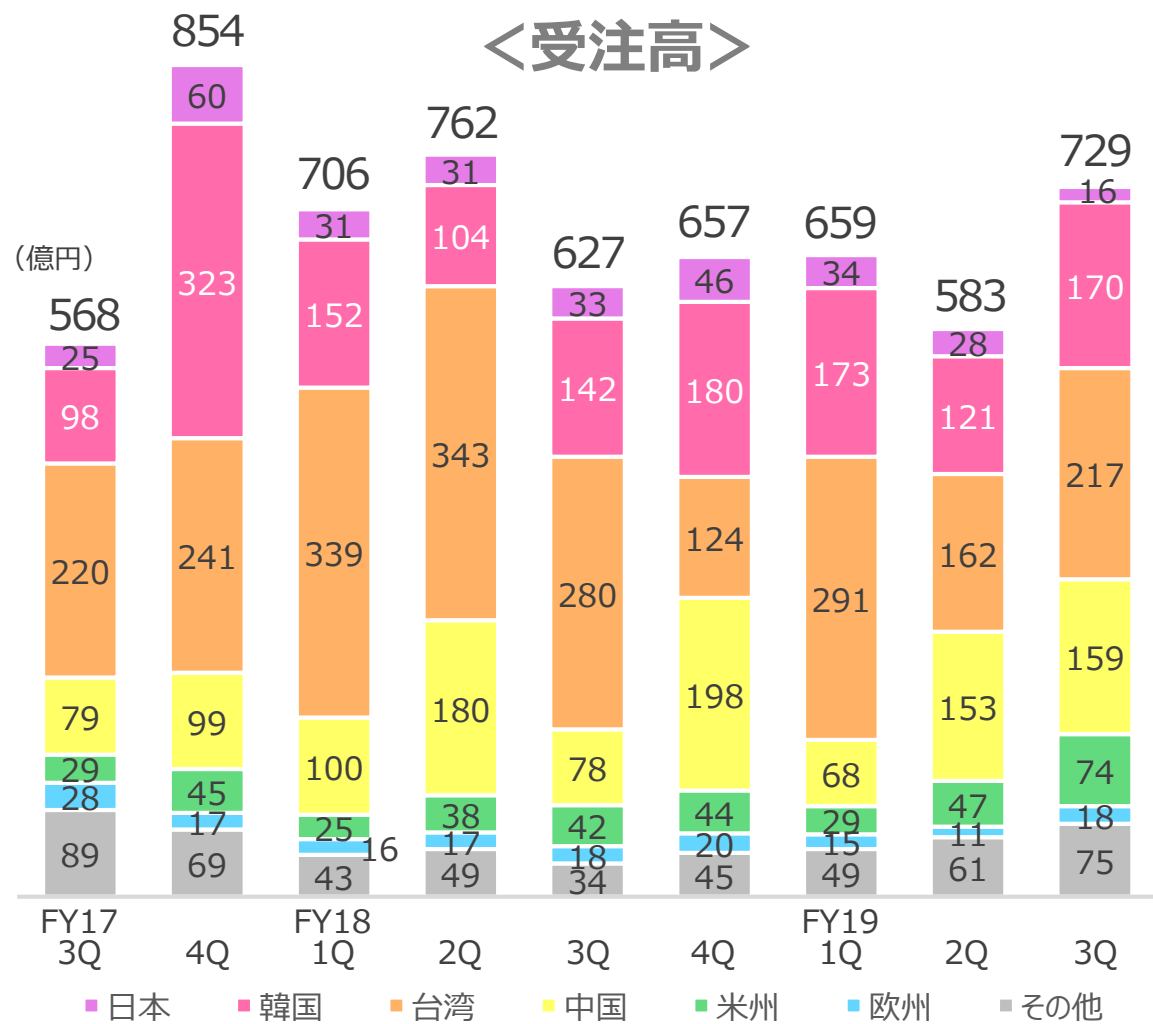


四半期売上高 事業セグメント別

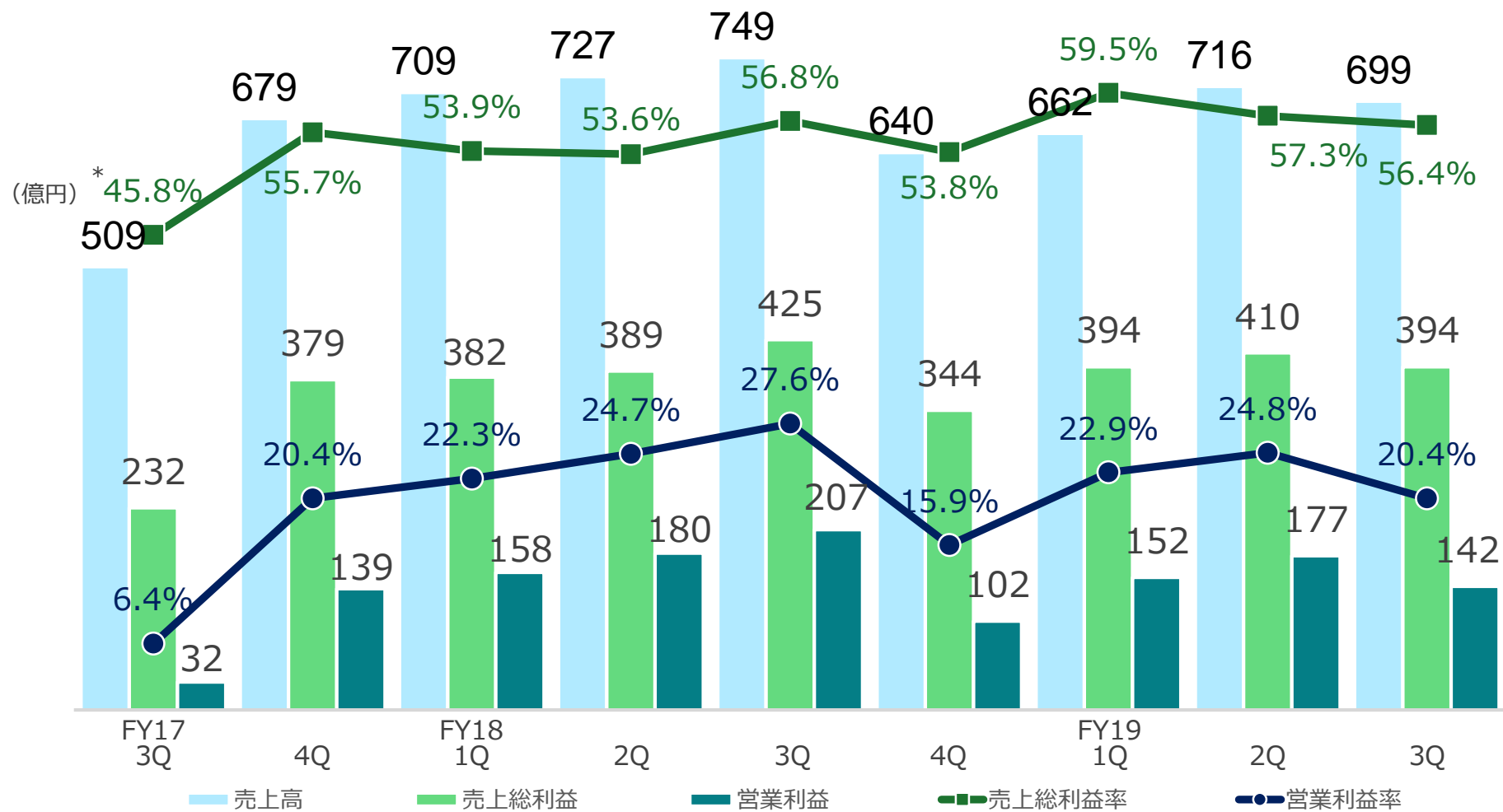


*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期受注高/売上高 地域(出荷先)別



売上高/売上総利益/営業利益

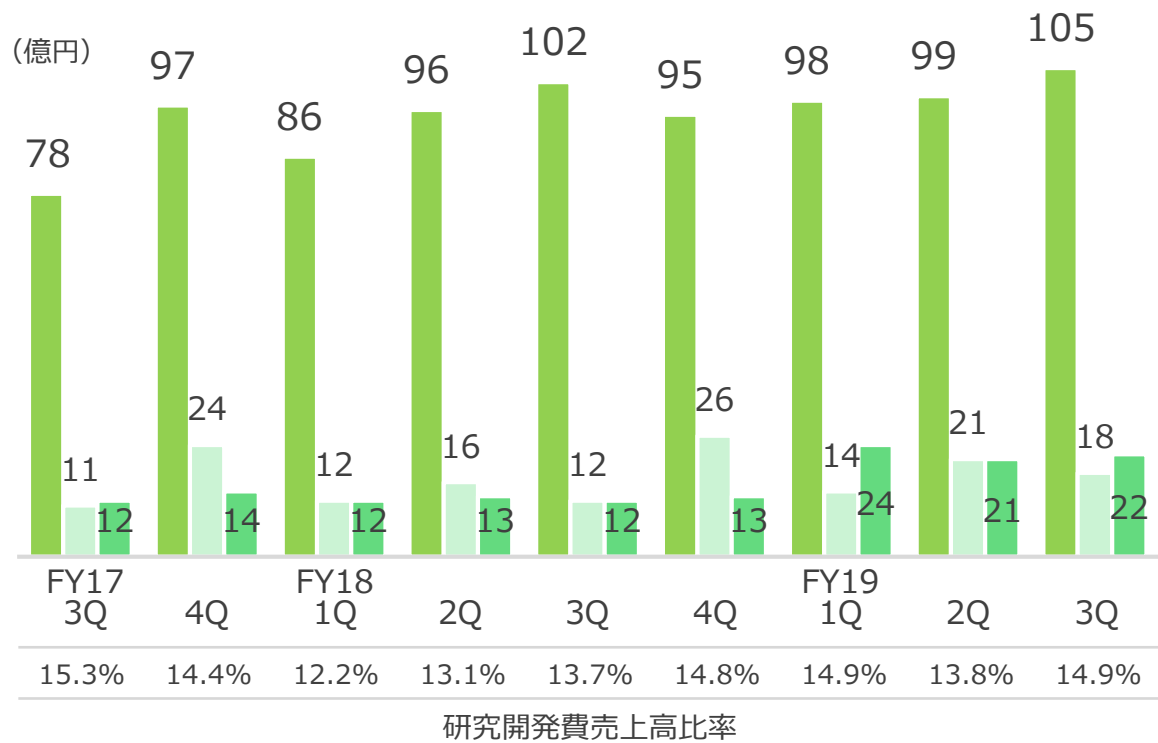


*FY17 3Qにナノテクノロジー事業の棚卸資産評価損(33億円)を計上しています。
この評価損影響を除いたFY17 3Qの売上総利益率は、52.3%となります。

投資等/キャッシュ・フロー

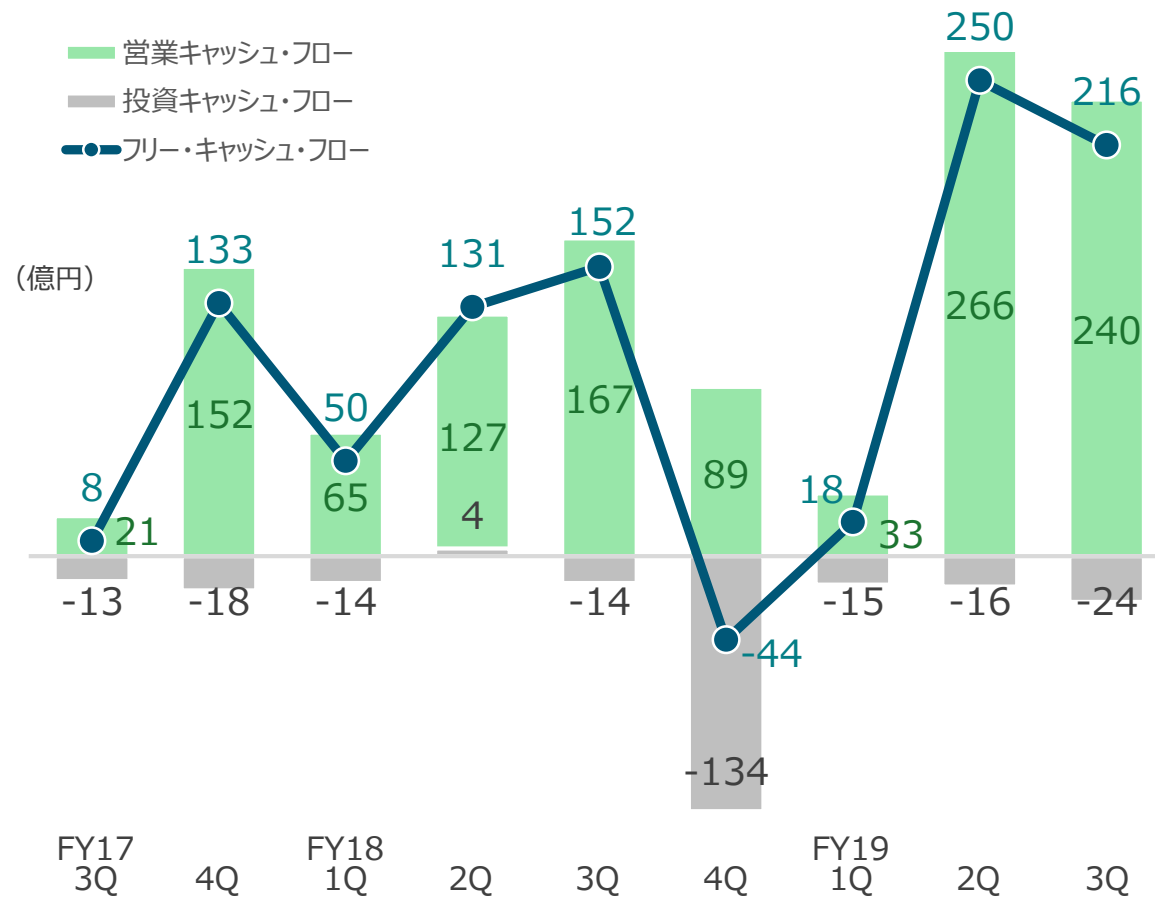
<投資等>

- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費



<キャッシュ・フロー>

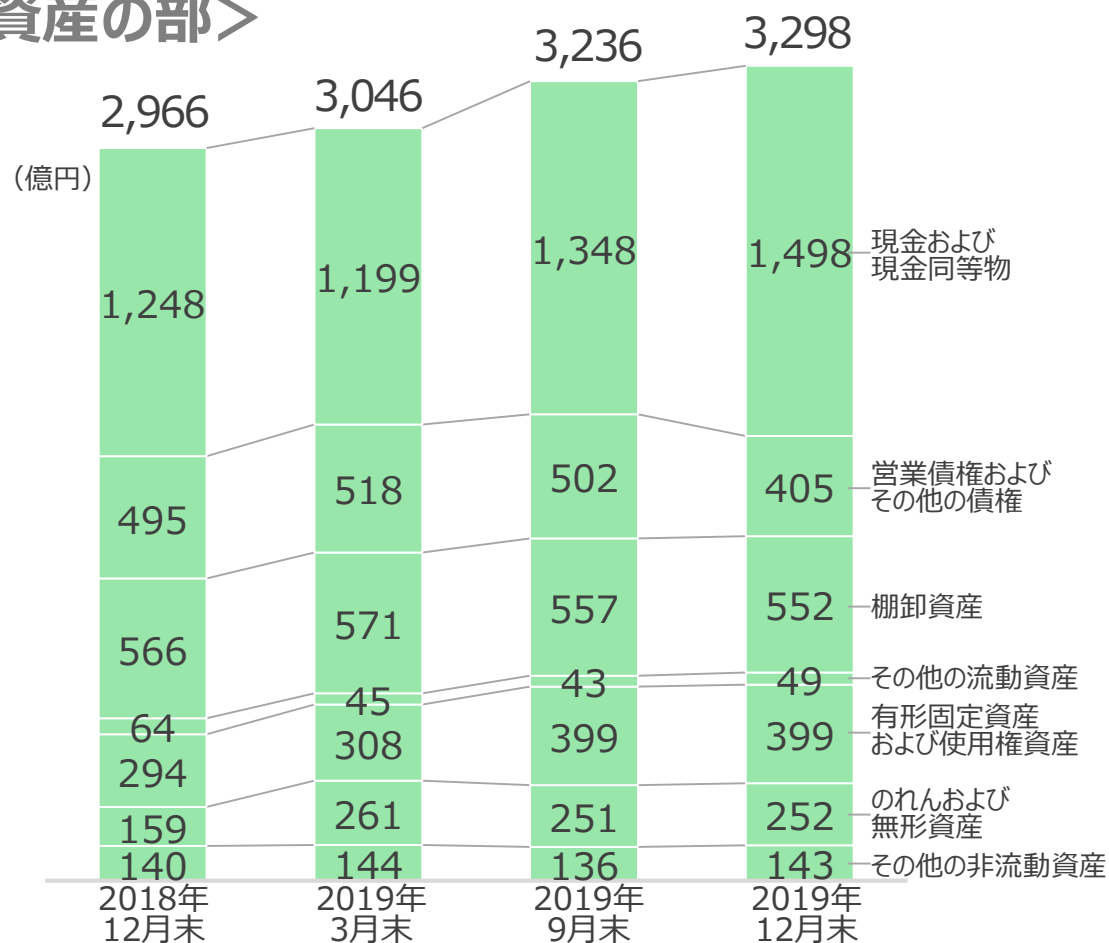
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



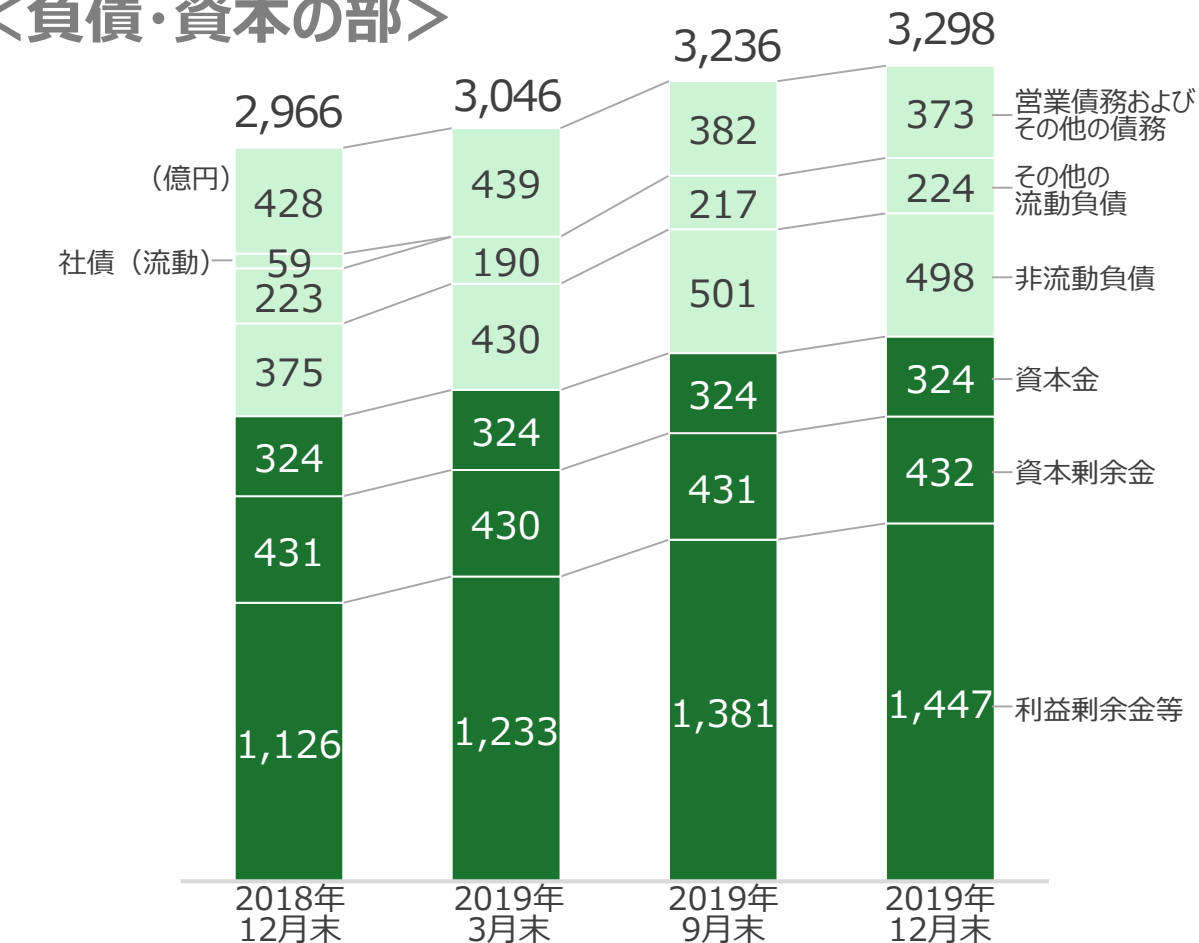
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



親会社の所有者に 帰属する持分	1,881	1,987	2,136	2,203
親会社所有者 帰属持分比率	63.4%	65.2%	66.0%	66.8%

2019年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 吉田 芳明

半導体テスト市場の動向 <20年1月時点の見方>

CY19実績（暫定）

- 5G向けを中心に、ハイエンドSoCの開発/生産用テスト投資が想定以上に加速・拡大。SoCテスト市場は前年を超過
- メモリ・テスト市場も、メモリ高性能化や中国メモリ企業の量産開始などに支えられ、持ち直し

CY20予想

- CY19の想定以上の伸びを受け、SoCテストの市場規模は現時点で横ばいを見込むが、半導体の進化と同期したテスト能力向上投資が市場を牽引する構図は不変
- メモリ・テスト市場は回復途上。DRAM市況改善の進展次第で、一段の需要増の可能性

	CY18実績	CY19実績（暫定）	CY20推定
SoCテスト市場	約\$2,550M	約\$2,700M (10月時点推定:「約\$2,600M」)	約\$2,700M
メモリ・テスト市場	約\$1,150M	約\$650M (10月時点推定:「約\$550M」)	約\$800M

FY19業績予想

(億円)

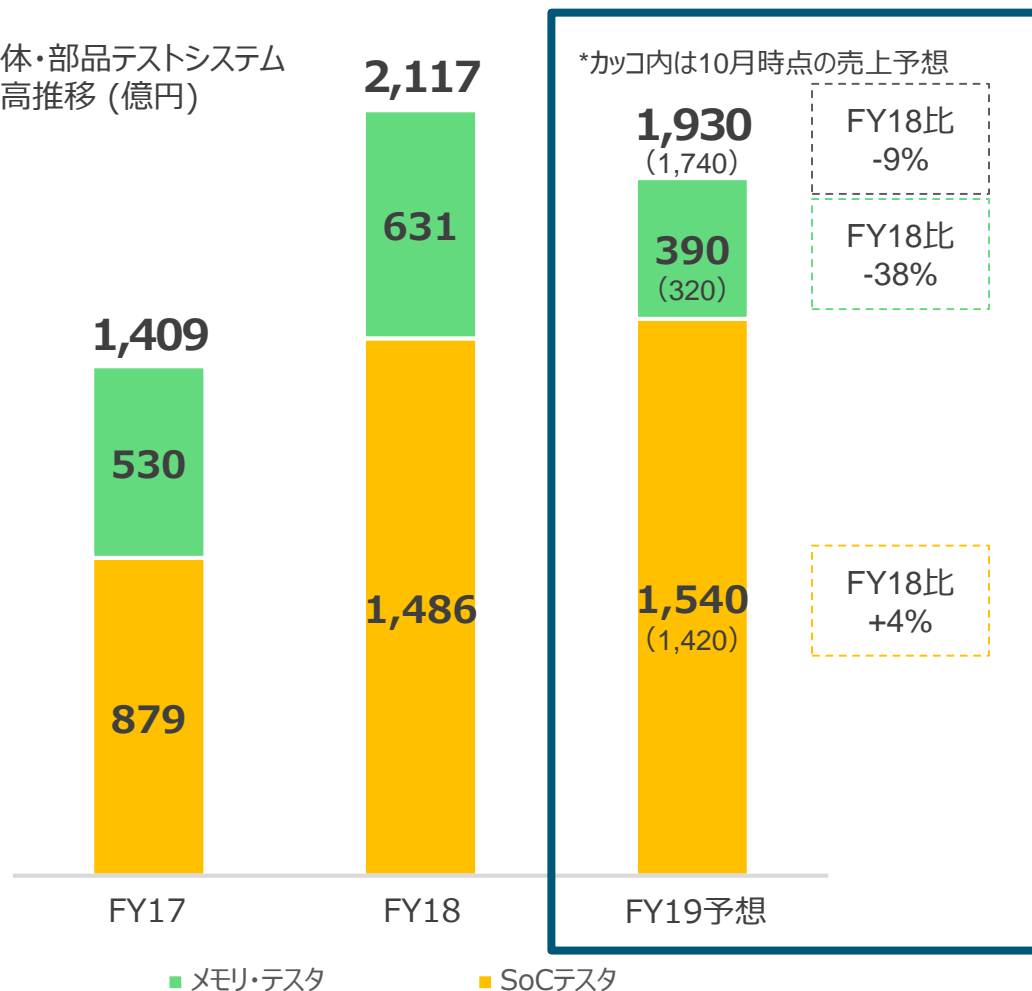
	FY18 実績	FY19					(参考)新旧予想比較	
		上期 実績	下期 予想	通期予想	前年度比		10月時点 FY19予想	修正額
					増減額	増減率		
受注高	2,752	1,242	1,458	2,700	-52	-1.9%	2,350	+350
売上高	2,825	1,378	1,322	2,700	-125	-4.4%	2,470	+230
営業利益	647	329	231	560	-87	-13.4%	450	+110
営業利益率	22.9%	23.9%	17.5%	20.7%	-2.2pts		18.2%	+2.5pts
税引前利益	662	333	234	567	-95	-14.4%	458	+109
当期利益	570	268	222	490	-80	-14.0%	365	+125
当期利益率	20.2%	19.4%	16.8%	18.1%	-2.1pts		14.8%	+3.3pts
受注残	749	613	749	749	-	-	629	+120
為替レート*1	1米ドル	110円	109円	107円	108円	2円 円高	107円	-
	1ユーロ	129円	123円	120円	121円	8円 円高	121円	-
ROE	35.3%	-	-	22.8%	-12.5pts		17.6%	+5.2pts
1株当たり配当金*2	92円	41円	34円	75円	-		未定	-

*1: 為替レートの変動がFY19の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円高時マイナス6億円です。対ユーロはプラス1億円です。

*2: FY18の1株当たり配当金は、上期が50円、下期が42円です。

FY19見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム
売上高推移（億円）



半導体・部品テストシステム事業

<SoCテスト>

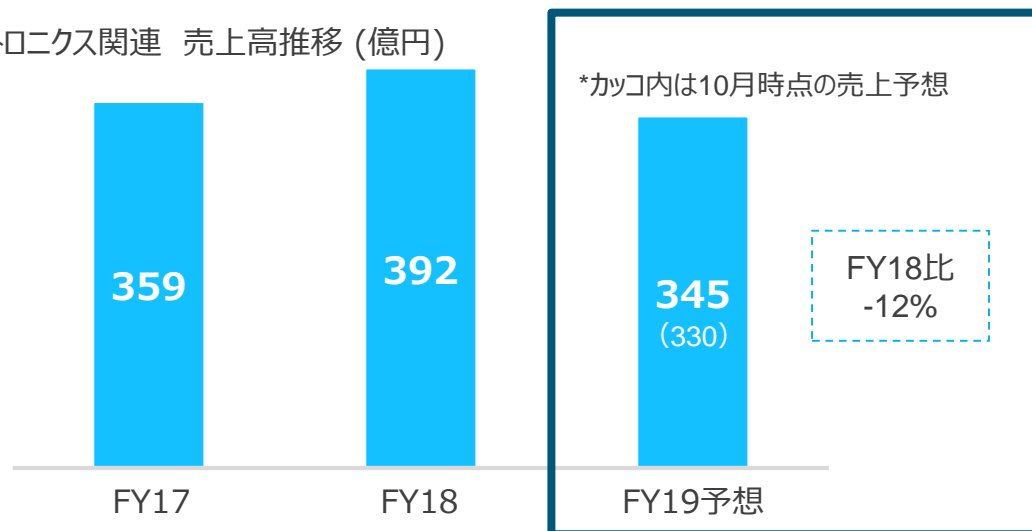
- 5G用などハイエンドSoC向けは、上期比ペースダウンも、3か月前の予想ほど需要鈍化せず。年度売上予想を修正
- 好調だったFY18をさらに超え、SoCテスト事業の過去の売上記録を更新へ

<メモリ・テスト>

- 市場環境にいつその改善感
- 4Qもフラッシュ向けやDRAM高速テスト向けの需要を見込む

FY19見通し（事業別）

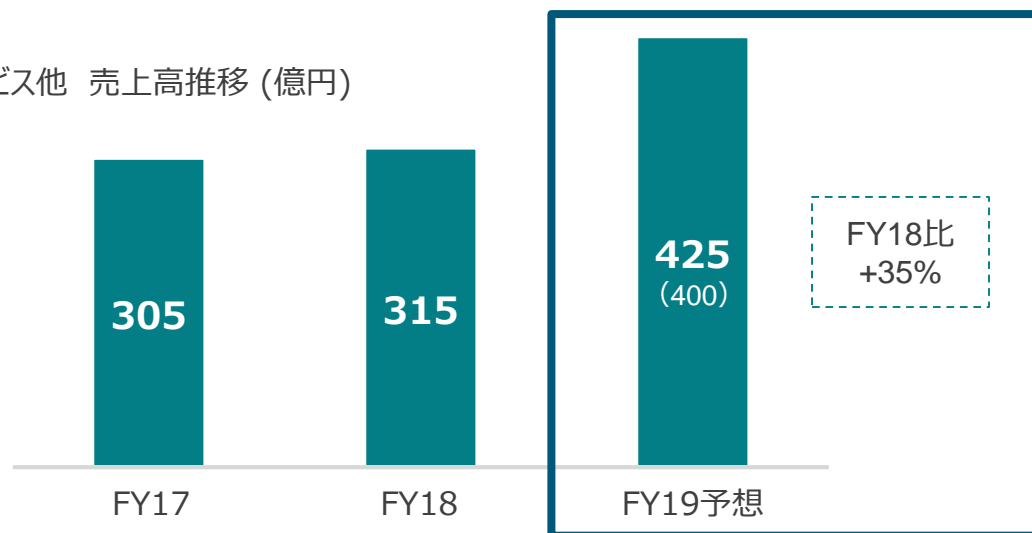
メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



メカトロニクス関連事業

- メモリ顧客のテスト投資の戻りに即し、インタフェース製品需要も想定より若干好転

サービス他 売上高推移（億円）



サービス他事業

- 中核事業であるフィールド・サービス売上は堅調に推移
- システムレベル・テスト事業もSSD向け、SoC向けともに堅調

中長期成長に向けた取り組み

「グランドデザイン」(中長期経営方針・FY18-27)

<ビジョン・ステートメント>

「進化する半導体バリューチェーンで顧客価値を追求」

<経営目標>

「売上高3,000億円～4,000億円の達成」

- 成長分野へのフォーカス、顧客とのパートナーシップ強化でシェアを年1%ペースで改善 (CY17実績:36%→CY27目標:46%)
- 新規事業として、現在のコアビジネスの周辺分野の開拓

中期経営計画(FY18-20 平均)

	保守的シナリオ	ベース・シナリオ
半導体試験装置市場 成長率	年0%	年4%
売上高	2,300億円	2,500億円
営業利益率	15%	17%
ROE	15%	18%
1株当たり当期利益(EPS)	135円	170円

中期経営計画(FY18-20)における投資方針

<研究開発投資>

- ✓年間300億円以上を継続的に投資

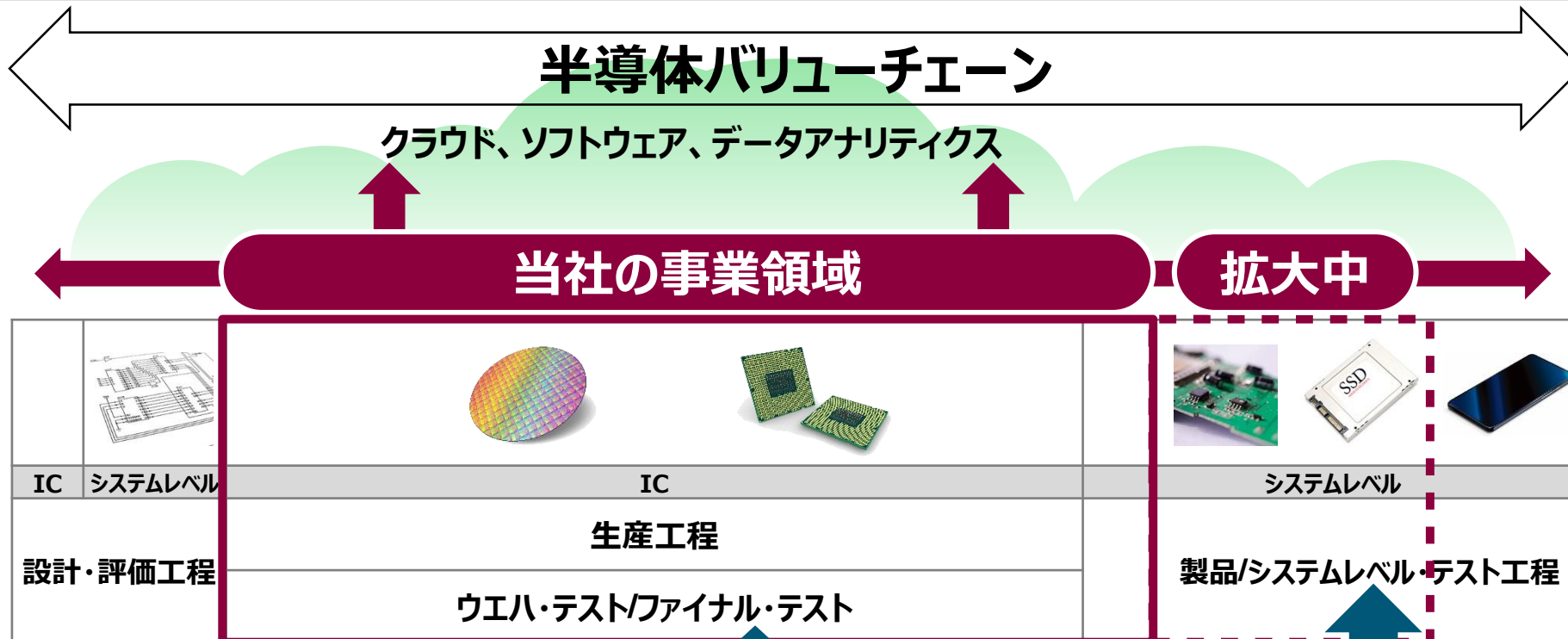
<M&A投資>

- ✓中期経営計画期間累計のM&A投資枠として1,000億円を設定
- ✓半導体バリューチェーンにおけるソリューション拡充に資する案件が対象

<FY19 開発投資・設備投資の見通し>

	FY18実績	FY19予想
研究開発費	379億円	400億円
設備投資	66億円	100億円
減価償却費	50億円	95億円

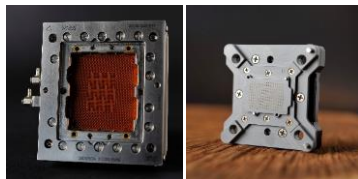
米Essai社の買収について



当M&Aの戦略的意義

- 技術ポートフォリオ拡充による事業領域拡大と競争力強化
- リカーリングビジネス強化による収益基盤多様化と安定化

アドバンテスト×Essaiの高精度ソリューションで顧客に新たな価値を提供



高性能テスト・ソケット

- ✓ 多ピン化・微細化・先端パッケージ採用に付随した大規模高性能デバイスの試験精度向上ニーズに対応
- ✓ 勃興するシステムレベル・テスト市場にもベストフィット



サーマル・コントロール・ユニット

サマリー

- SoCテストの堅調な需要とメモリ・テスト市場の持ち直しを踏まえ、通期予想を再度上方修正
- FY19は、想定以上ではあったが市場調整の年。FY20は回復の年になると期待
- オーガニックな努力とM&Aで得たリソースを融合し、引き続き業績拡大を目指す
- 米中摩擦、地政学リスク、新型肺炎など懸念は多々あるも、来年度はFY18業績超えを目標に